

安全に関する改善提案

記入日: 2005年 10月 27日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者:

| 設計・施工区分 | 工種 | 想定される事故の種類 | 想定される事故の要因 | 危険作業の種類 |
|---------|-------------|------------|------------|---------|
| 設計 | コンクリートダム堤体工 | 墜落 | 設計要因 | 高所作業 |

改善の概要: 張り出し部等の形状変更

- ・天端高欄の張り出し形状をなくし、危険作業を減らす。
- ・堤趾導流壁の波返し構造は、壁高を高くすることでなくし危険作業を減らす。

メリット:

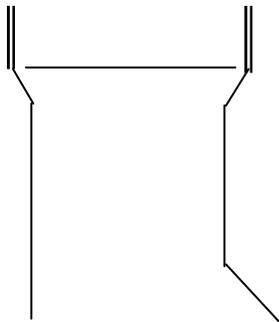
- ・高所作業箇所を減らせる
- ・ヒヤリハットがなくなる
- ・工程短縮が図れる

デメリット:

- ・コンクリート数量増による工事費増額
- ・場合により設計をやり直す必要が生じる

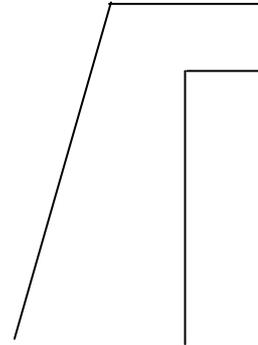
改善前 (略図または写真)

天端高欄



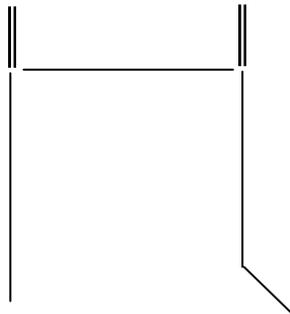
・50cm程度の張り出しで足場・支保工がいる。

堤趾導流壁

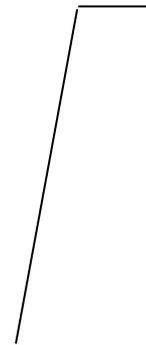


・階段状のフーチング上からの支保工作業が危険性が高い
・工程上、波返しの打設が当該ブロック打設より遅れる。

改善後 (略図または写真)



・下流面の勾配変化点からコンクリート厚1m増で張り出し形状をなくす。



・壁高を高くすることで、張り出し構造をなくす。